

アリ

報告内容

国家試験の回答方法は…「控える、ない、きつくなる」などイメージは(X)です。それ…「ことがある、確認する、検討する」などイメージは(O)です。介護福祉士試験の出題分析と本書の構成は今年の問題は去年の問題から80%出ます。

それ20%の問題は新しい作ると言われました。出題化傾向は認知症の問題は多く出ると先生は説明されました。

介護の問題は多いので勉強強化します。気をつけることは医療的ケアの問題は少ない問題は1,2問は正解したいととSしたいので注意して下さいと言われました。

報告内容

① 最初の日は正しい重要なポイントに答える方法を学びました。

その後介護福祉士国試ナビに関する重要なポイントについて

話し合いました。人間と社会、社会のしくみ、人権と権利擁護、

社会保障制度、など。

先生の2日目は昨年の国試の練習を破壊し、期日の介護福祉士

国試ナビについて話し合いました。介護「身体介護、生活援助、

介護の基本、相談援助、こころがたのしくみ、こころのしくみ、

からだのしくみ、疾病が障害、医療的ケア、

こころがたのしくみ、からだのしくみ、こころのしくみ、こころのしくみ、こころのしくみ、

とたまたま国試の合格のため。

秋の学習

報告内容

1) 国家試験の問題、難しい問題は簡単になるように勉強しました。

2) 去年の国家試験の問題を復習しました。なぜこの問題出る、勉強しました。

3) 難しい問題があったら、どうしたらいい? 説明してくれました。

4) どの問題、たくさん点があったら、得意にしてください先生に言われた。たくさん点をとるために...

5) まよっている問題はどのように考えるか、勉強しました。

a) 介護のこと

b) 認知症のこと

c) ココのコからのおくみのこと

} 得意にしてください

報告内容

最初の日、私は合格するために必要な値を説明した。(125の質問のうち、77の質問は正しいです。そして、習得しなければならない物質は人間と社会(16問)、介護(52問)、ココロがだのしくみ(40問)、医療的ケア(5問)、総合(12問)でも、介護(52ポイント)とココロがだのしくみ(40ポイント)を勉強することに焦点を当てた(合計ポイント92)。

それから、誰が問題を起したのか説明した。80%問題は由井正樹委員長によって作られた。だいたい60%は昨年と同じ、20%は新しい問題。このことなので昨年の試験問題を勉強することも重要でした。そして介護福祉士国試ナビ2019の本で昨年の試験の問題を1つ1つ詳しく話し合います。

そして、試験問題に簡単に答える方法を学びます。例、回答の選択肢が間違った回答を示し(〜ない、〜買して、など)、回答の選択肢が正解を示す重要なポイント(〜ことがある、〜場合がある、など)。

二日目、昨年の試験の質問の議論を続け、それぞれの答えをより明確に議論する。後は昨日のレッスンを繰り返す。最後に2-3のケアマネの質問の試験に答えて、それを介護福祉士の試験問題と比較しようとする。

研修後、試験のこともしっかりできると思えます。そして、どこか自分のできることかできないことがよく分かった。それからも昨年の試験の質問もDUELLSの本でもっと勉強したいと思えます。